

代っ子通信

令和6年4月17日

〈第2号〉

校長 平塚智康

【今年度の学校教育目標】

わたしも みんなも 幸せになる
学校をつくる人になろう

【目指す子どもたちの姿】

「やさしく」

- 自分も人も大切にできる子
 - ・人のいたみがわかる
 - ・思いやりがある
 - ・友達となかよくする
 - ・人に親切にする
 - ・人の役に立とうとする・・・。



〈学力調査に取り組む6年生〉

「かしこく」

- 自ら学ぶ子
 - ・人の話を最後までしっかり聞くことができる
 - ・進んで学習に取り組む
 - ・友達と力を合わせて課題を解決しようとする・・・。



〈昼休みグラウンドで元気に遊ぶ子供たち〉

「たくましく」

- くじけずやりぬく子
 - ・明るく元気にあいさつをする
 - ・進んで運動したり、外遊びしたりする
 - ・つらいことやいやなことがあったらだれかに相談できる
 - ・少々のことではへこたれない・・・。

★次のページには、教職員と共有している「山代小グラウンドデザイン（学校経営ビジョン）」を掲載しました。今年1年、こうした目標を掲げ、子どもたちの「今」も「未来」も幸せにするために、職員一同力を合わせてがんばっていきます。

令和6年度 山代小学校グランドデザイン(学校経営ビジョン)

校訓 「一生懸命」

学校教育目標

「わたしも みんなも 幸せになる学校をつくる人になろう」

目指す児童像

- ・自分も人も大切にできる子
- ・自ら学ぶ子
- ・くじけずやりぬく子

目指す教師像

- ・子どもたちに寄り添う教師
- ・令和の日本型学校教育構築に向け挑戦する教師
- ・様々な人々と協働できる教師



確かな学力（知）

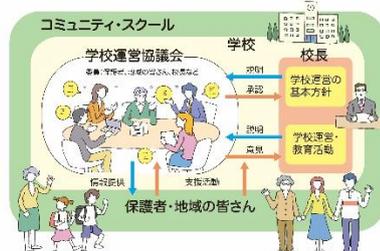
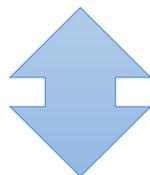
- 「子どもは有能な学び手である」という子ども観の理解と共有
- 「個別最適な学び」「主体的な学び」の推進
- 「協働的な学び」「対話的な学び」の推進
- 子どもに委ねる学びの推進、自立した学び手の育成
- 探究的な学び（STEAM含む）の創造

豊かな心（徳）

- 「ありがとう」「うれしいよ」「助かったよ」のI（愛）メッセージ
- 自己肯定感、自己有用感、自己効力感の育成
- 生徒指導の4つの視点をすべての教育活動に
 - ・自己存在感の感受
 - ・共感的人間関係の育成
 - ・自己決定の場の提供
 - ・安全・安心な風土の醸成

健やかな体と心（体）

- よく遊び、よく学び、ぐっすり眠れる子
- 自分の健康（体・心）を自分で守れる子
- レジリエンス（回復力、心のしなやかさ）、ストレスマネジメント力を育む
- 子どもたちの心身ともに健やかな成長を支えるための家庭・地域との連携の推進



【家庭・地域・関係機関等との連携】

- ・地域とともにある学校づくり（PTA、コミュニティ・スクール、児童センター、まちづくり等）
- ・積極的な情報発信（学校だより、各種たより、ホームページ、コドモン、授業公開等）
- ・地域の「人・もの・こと」を生かした学習、ふるさと山代への誇り・愛情を醸成する学習
- ・保小中の縦の連携や交流、円滑な接続
- ・教育委員会、教育総合支援センター、福祉部局等、関係外部機関との情報共有や連携